

1学年 Sakura Time

～あおもり創造学～

【講演会】

～太正大学地域創生学部地域創生学科 教授 浦崎 太郎 氏～

仮説・検証の具体的な方法を学び、夏休みに行った活動を活用しつつ、探究テーマの具体化を目指しました。



【講演を聞いた感想・気づいたことや学んだこと・今後の自分の探究活動について、やるべき事】

- 今日の講演ではじめにおっしゃっていた[総探はデート]ということを意識して話を聞いてみると、意味がよくわかった。やってみたいことと、地域の人も嬉しくなることを繋げて課題を決めることが大切だと聞いて、確かに自分が満足するだけじゃいけないと感じた。大正大学の平野さんが空き家問題を解決しようとしている姿を見て、高校生であそこまで真剣に課題と向き合っていることに感動した。
- 探究は自分にとってプラスになるものであり、これからも自分にとって何が必要かを考え何事もチャレンジしたいです。
- 総探はただ楽しそうだからとか、面白いから調べるのではなく、そこから発展させて自分の自己満足だけで終わらずにそれを調べて誰かの何かに役に立つのかを考慮した上で総探に取り組まなくてはダメなんだと気づきました。
- 自分が楽しめることや人の役に立つことを考えて、その上で高望みせず小さなことを重ねていくこと。
- 今までの自分に足りなかったことは他の人に話を聞いてみたり、「掛け算」してみることがなかったなと感じました。自分の中で問題を解決して納得するのではなく、それを周りとうどう共有して広げていか考えながら取り組みたいと思います。色々な場所に足を運ぶことも少しづつしていきたいと思います。
- 今できそうな、人の役に立つことを発見する。そして、失敗を恐れずに挑戦する。